

# ゆり栽培の省力化で時間を有効に！

## 自動かん水で時間を短縮 他の作業ができる！

活動年次：令和4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

### 1 課題設定の背景 \*\*\*\*\*

- 当別町は全道で有数の花き性産地
- 農家戸数は高齢化・担い手不足で減少、生産量も減少している。  
(H2 1,264戸 → R2 462戸)
- 花き生産は手作業が多く、労働力が必要。

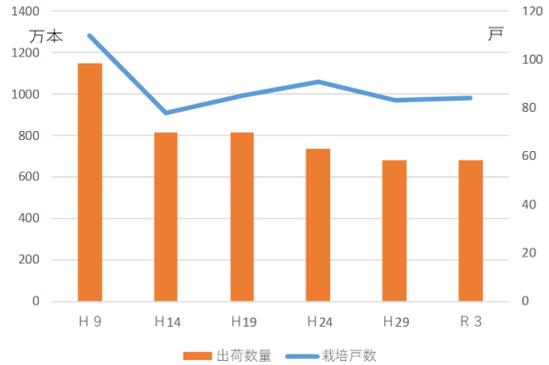


図 当別町花き栽培農家戸数と生産量の推移



花き生産の維持・発展

### 2 活動の内容 \*\*\*\*\*

ゆり部会で経験値の高い農業者と新規参入9年目の農業者2戸でモニタリングを実施。

- ・自動かん水装置を設置（1戸4ハウス）
  - \* 1ハウス3ベッドそれぞれにかん水装置があり、弁がついている。  
(弁を手作業で開閉していた)
- 4ハウスに自動かん水装置が設置された。



8月 自動かん水装置設置



9月 推進会議で、意見交換



10月 選花状況確認

- ・ 8月 ゆりの定植、モニタリング装置、自動かん水装置の設置
- ・ 9月 試験場など関係機関と推進会議で意見交換
- ・ 9～10月 生育、土壌水分など確認
- ・ 10月 収穫・選花状況確認
- ・ 3月 マニュアル改訂検討

### 3 活動の成果 \*\*\*\*\*

- 自動かん水を設置することで、作業時間が減少した。
- ハウス棟数が多く点在しているので、移動はカートを使用していた。移動にも時間がかかっていたが、自動かん水になると削減される。

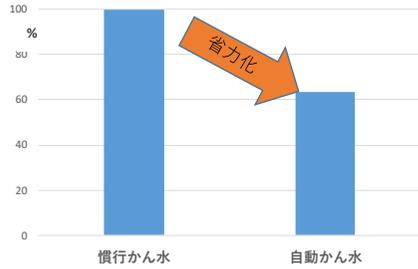


図 かん水時間の変化



写真 ハウスが点在



写真 ハウス間はカートで移動

取水源が用水なので、時期によっては水量が十分ではないこともあった。省力化が図れることはよくわかった。



#### <わかったこと>

- ☆自動かん水装置が導入されると作業時間が減少し、省力できることが理解された。
- ☆かん水作業は、1～2人で行っているが、1人でもできるようになるし、またデータを活用し誰でもできるようになる。

#### <課題>

- ☆取水源（用水、地下水、ため池）により水量確保が異なるので、自動かん水が難しい所もある。
- ☆ハウスの仕様が一律ではないため、状況に合わせて検討する。



花き生産は手作業が多いので、労働力が必要となります。かん水作業が自動化されると時間が短縮され、他の作業ができるので良かったです。

### 4 今後の活動 \*\*\*\*\*

- ・町の事業として令和3～5年度まで実施。今後も支援を継続する。
- ・データを活用して、新規参入者用栽培マニュアル改訂を支援する。